

ふしの本

2024.9

No.46

広げよう福祉の輪 つなげよう地域の輪

脇町地区



美馬地区



住民座談会



「誰もが住み慣れた地域で
安心して暮らせるまちづくり」に向けて



穴吹地区

木屋平地区

CONTENTS

- P1~P2 事業並びに決算報告 理事・評議員改選の報告/No.45訂正
- P3 祝百寿 / 美馬市高齢者生活福祉センター入居者募集 / 登録ヘルパー募集
- P4 介護予防サポーターフォローアップ研修会 / ふれあい福祉総合相談員研修会 / 災害ボランティアセンター事前登録ボランティア募集
- P5 第4次地域福祉活動計画策定に向けて
- P6 地域の福祉活動紹介
- P7 社協会員会費 善意銀行

ならびに決算報告

6月の理事会・評議員会で承認されました

令和5年度事業報告（要旨）

令和5年度事業報告（要旨）

※ 総…総務課 地…地域福祉課 在…在宅福祉サービス課

1 地域共生社会の実現に向け、多様な実践を図ります。

- 総 市社会福祉大会の開催、社協だよりやホームページ等広報の活用により、地域での福祉活動の推進や啓発活動に取り組みました。
- 地 地域活動への参加、各種事業の中で発見した課題を協議し、解決に向けた仕組みづくりに取り組みました。市ケーブルテレビ「ふくしの木テレビ版」を積極的に活用し、各種事業や活動の啓発に取り組みました。
- 在 デイサービス施設運営委員からの意見を参考にしながら、地域に寄り添ったサービス提供に取り組みました。

2 福祉を支える人材（福祉人材）の確保・育成・定着を図ります。

- 総 福祉人材の確保、安定した事業展開につなげるため、新規職員（介護支援専門員、看護師）の採用、定年延長制度の導入に取り組みました。
- 地 社会福祉士をめざす実習生の受入や福祉教育も兼ねた学生ボランティアマッチングなど福祉人材育成に取り組みました。また、介護予防サポーターや認知症サポーター養成講座、市民後見人フォローアップ研修等各種講座を開催し、住民自身と福祉について学び合う機会に取り組みました。
- 在 臨時特例交付金等を活用し、介護職員の処遇改善に取り組みました。

3 福祉サービスの質と向上を図ります。

- 総 安全衛生委員会を定期開催し、職場の課題解決、業務の効率化やサービスの向上を図りました。また、市内社会福祉法人と定期会議の場を設け、地域の福祉課題の解決に向け、協議を重ねました。
- 地 各種研修等に参加し、職員のスキルアップと課内全体の質の向上に取り組みました。また、生活困窮者自立支援や権利擁護支援等の個別支援では、関係機関や関係者と密に連携し、当事者に寄り添った支援に取り組みました。
- 在 毎月全体会議を開催し、各事業所の抱える課題や利用者からの苦情等を共有、また解決に向けた協議を重ね、事業所全体のレベルアップに努めました。

4 福祉の組織強化・基盤強化を図ります。

- 総 理事会・評議員会、財務管理検討委員会等各種会務を開催し、安定した組織体制、運営に向け協議を重ねました。
- 地 地域福祉活動計画の推進を通して、より多くの住民が地域活動に参加・協働しやすい機会を設けました。また、サロン活動や小ネット活動への助成を通して、社協会員会費や共同募金運動への理解を図りました。
- 在 第2次経営改善計画に基づき、収支改善に向けて取り組みました。

5 災害発生時の迅速な支援ができるよう、平時から体制整備を図ります。

- 総 財務管理検討委員会を開催し、善意銀行預託金を活用した災害発生時の支援活動に係る資金確保に取り組みました。
- 地 災害発生時の円滑な設置に向け、災害ボランティアセンター設置検証訓練を実施するとともに、能登半島地震被災地支援に職員を派遣しました。また、自主防災会と連携し、地域の支え合いマップ（防災マップ）推進に取り組みました。
- 在 事業所ごとにBCP（事業継続計画）を策定しました。また、デイサービス事業所において、利用者とともに避難訓練を行いました。

「ふくしの木No45」訂正

7ページ美馬市社協職員組織一覧の一部を訂正します。

【職名】

デイサービスセンター「池月苑」高部 道代

(誤) 介護員 → (正) 看護師

デイサービスセンター「ライフケアたがた」谷 和代

(誤) 介護員 → (正) 看護師

【電話番号】

地域福祉課（相談支援係）

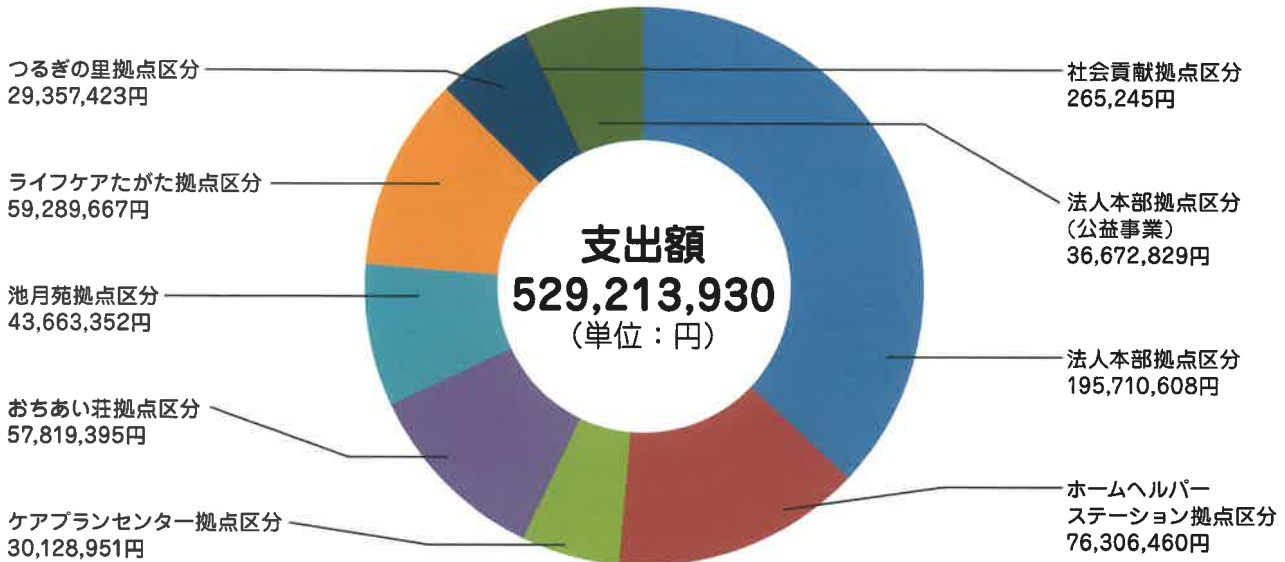
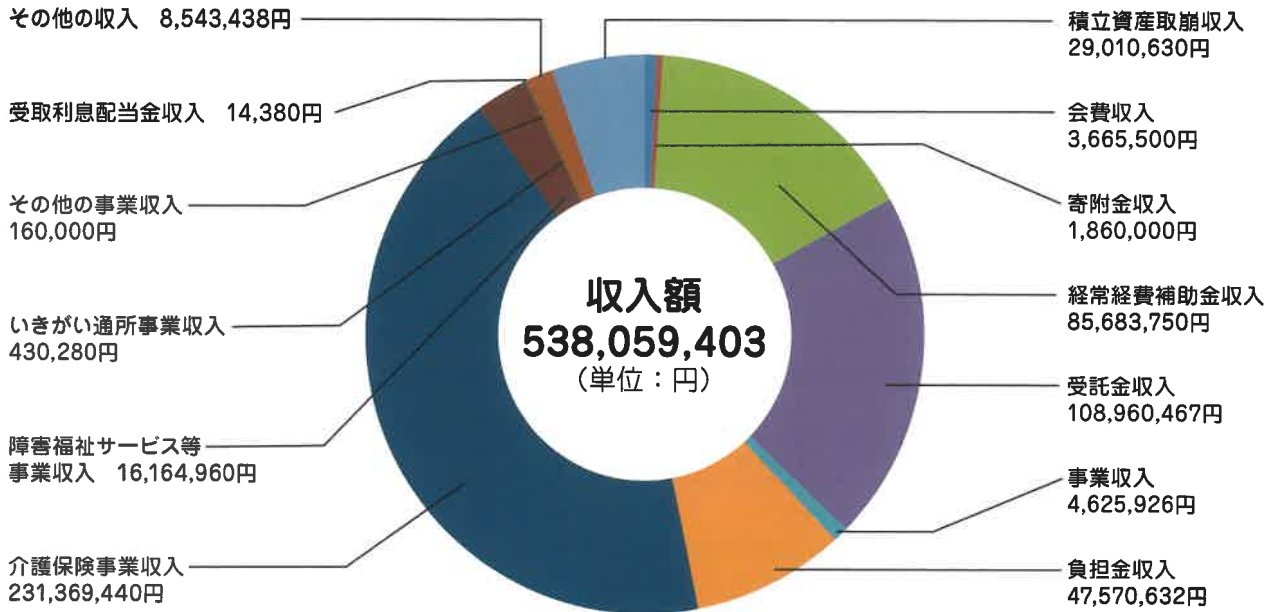
(誤) 52-7830 → (正) 53-7830

令和5年度事業

令和5年度の事業ならびに決算が



令和5年度 決算の概要



理事、評議員改選のご報告

理事評議員の一部の退任により、次の皆様が選任されました。

新理事 2名	
【任期】令和6年6月27日から令和7年6月の定時評議員会の終結の時まで (敬称略)	
氏名	選出区分
小笠原仁美	教育関係団体
前田実	学識経験者関係

新評議員 1名	
【任期】令和6年6月14日から令和7年6月の定時評議員会の終結の時まで (敬称略)	
氏名	選出区分
西岡裕美	福祉施設関係



高岡ユキエさん 自治会/半平

社協脇町ホームヘルプステーションをご利用いただいている高岡ユキエさんが8月27日で百歳をお迎えになりました。当日ご自宅で、祝い状や記念品を贈呈し、子供さんや孫さん、曾孫さんとともにお祝いをさせていただきました。

大垣会長の、「これからもお元気で長生きしてください。」という声かけに、「今日は遠いところありがとうございます。皆さんのおかげです。ヘルパーさんに来てもらって助かっています。」とおっしゃっていただきました。

これからもお元気で過ごしてください。百歳おめでとうございます。



美馬市高齢者生活福祉センター 入居者募集



美馬市木屋平高齢者生活福祉センター

住 所 / 美馬市木屋平字谷口257番地4

電 話 / 0883-68-3030

定 員 / 10名

部屋数 / 8室(うち2部屋夫婦部屋)

※9月10日現在空き状況(夫婦部屋1室)



美馬市穴吹高齢者生活福祉センター

住 所 / 美馬市穴吹町口山字田方110番地2

電 話 / 0883-56-0188

定 員 / 15名

部屋数 / 13室(うち2部屋夫婦部屋)

※9月10日現在空き状況(夫婦部屋1室)

見学も可能です。

◎対象者

美馬市内に居住するおおむね65歳以上のひとり暮らしの者又は夫婦世帯であって、高齢のため独立して生活することに不安のある者として登録を受けることができる者となります。

◎負担金額

生活支援ハウス運営事業のサービスを受ける者は、収入による階層区分に定める金額を負担するものとなります。

居室の空き状況については常に変動がありますので、詳しい状況や内容についてはお問い合わせ下さい。

登録ヘルパー募集

笑い声のたえない明るく元気な職場です。

「ありがとう」の言葉にやりがいを見出せる意義のあるお仕事です。

あなたを待っている利用者さんがたくさんいます。

私たちと一緒に楽しくお仕事しませんか？

お問い合わせだけでも大歓迎！まずはお気軽にお問い合わせください。

<お問い合わせ先> 総務課 ☎0883-53-7432



介護予防サポーターフォローアップ研修会

少子高齢社会の中、地域の通いの場で介護予防に向けた取り組みができる地域社会の構築が必要となっています。そこで、介護予防サポーターとして登録いただいている方に、更なる知識を深め、地域において介護予防啓発や継続した活動ができることを目的に、「介護予防サポーターフォローアップ研修会」を6月16日に開催しました。

徳島県理学療法士会から講師を招き、「コロナの影響による高齢者の現状」の講義、「サロン等で活用できる認知症予防体操やレク」の実技を行いました。介護予防サポーター登録者40名が受講し、活動への意識づけを図ると共に、スキルアップを図ることができました。また、サポーターからは、「分かりやすく学べた」「サロン等で活用したい」等の声が聞かれました。



ふれあい福祉総合相談員研修会

美馬市ふれあい福祉総合相談センターでは、6月10日に相談員の研修会を開催しました。

相談員18名を対象に、「つながりワーカー養成講座」の動画で、地域での孤立に気づく・つながる・つなげる・見守る方法の演習と意見交換を行いました。

相談員の今後の活動に活かせる研修となりました。



参加者の感想

- ・相談は、多種多様であり、年々難しくなっている。
- ・相手の話をしっかり聞く(傾聴)、共感、非審判的態度、ねぎらい、気遣いの大切さがわかった。
- ・今後学習したことを活かしていきたい。
- ・話を聞くことが支援のスタートである。
- ・決めつけないで同じ目線で。
- ・地域の民生委員児童委員と連携を図りたい。
- ・地域の人と話せるきっかけ作りやイベントにも声かけを行いたい。
- ・挨拶、立ち話の大切さ。

～オールとくしまプロジェクト～

災害ボランティアセンター事前登録ボランティア募集

災害に備え、ボランティアの事前登録を募集します。もしものときに備え、あなたの力を貸してください。

募集対象 徳島県内在住の方

活動内容 県内で災害が発生した際の、被害者支援活動。(災害ボランティア活動)

募集開始 まさに今



事前登録はコチラから

- 登録後、登録完了メールが届きます。メールが届かない場合は、ドメイン@gmail.comのメールを受信できるよう端末の設定をご確認ください。
- 登録後、地域防災等に関する訓練等の案内やアンケート等をお送りする場合があります。
- ②③は被災規模・内容等により別的手段で実施する場合があります。

お問い合わせはこちらまで

徳島県社会福祉協議会
地域生活サポート課
(☎088-654-4461)

第4次地域福祉活動計画(令和7年度から令和11年度)策定に向けて

「地域福祉活動計画」とは、私たちが暮らす美馬市で、誰もがいつまでも安心して暮らし続けることができるように、ひとり一人、また地域全体でどのような取り組みが必要かを協議し、住民参加、官民協働で取り組むための計画です。

現在、最終年度となる第3次計画(平成30年度から令和6年度)に基づき、多くの住民の皆さんの参画により、計画に沿った住民主体の地域福祉活動を展開しています。

また、地域共生社会の実現をめざし、地域住民座談会や第4次地域福祉活動計画策定委員会キックオフセミナーを開催し、住民の皆さんと共に計画策定に取り組んでいます。

●地域住民座談会の開催(3月から7月)

地区別で33回実施し、462名の方に参加いただきました。住民の皆さんには、「①地域の課題・困っていること②地域の強み③5年後、10年後どうあってほしいのか④地域でできること」について話し合っていたいただき、いろいろな意見を聞くことができました。聞き取った内容(地域の課題や力)については、策定委員会において情報共有する形で活かしていきます。

また、職員が地域に出向き、住民の皆さんと顔を合わせ、社協を知っていただく貴重な機会となりましたことに感謝いたします。今後とも、ご理解ご協力をお願いいたします。



地区	開催回数	人数
美馬	7回	105
脇町	14回	202
穴吹	9回	128
木屋平	3回	27



●第4次地域福祉活動計画策定委員会キックオフセミナーの開催(8月23日)



第4次地域福祉活動計画策定委員を対象に、これから進める活動計画の理解を深めるためのキックオフセミナーを開催しました。アドバイザーのローカリズム・ラボ代表 井岡仁志氏から、「地域福祉活動計画策定・推進の考え方」と題して講演いただきました。『策定委員会(実行委員会)の役割は、プレイヤー(実行組織)になるのではなく、多様な人や組織が地域福祉に参加・協働する「推進組織」になるべきでは?』また、推進組織としての2つの機能は、①連絡調整(コーディネート)と②協議(プラットフォーム)であることを学びました。

地域の福祉活動紹介 「穴吹・宮成いきいきサロン」

お宝発見 2024年度

空き家を活用したつながり・支え合い



美馬市でも少子高齢化・人口減少により、空き家が増え問題となっています。

このような中、三島宮成地区では、持ち主の方に空き家を地域に開放していただき、「宮成いきいきの家」をオープンしました。

そこでは、月1回「宮成いきいきサロン」が開催され、楽しい地域の集まりの場となっています。サロン活動で、「人と人とのつながり」や「ご近所や仲間同士の見守り、支え合い」等が自然にできるようになり、住み慣れた地域で安心して心豊かな生活を送れる地域づくりにつながっています。

おもな活動内容

笑いヨガ・阿波弁講座・懐かしのヒットメロディー



笑いヨガ・阿波弁講座・懐かしのヒットメロディー等の動画を放映し、スクリーンを見ながらみんなで楽しく過ごしています。

サロンでの井戸端会議



お茶を飲みながら地域でのできごとなど、世間話にも花を咲かせています。

いきいきサロン宮成通信の発行

サロン開催月に、サロン代表者が通信を作成し、美馬市広報と一緒に宮成自治会全戸に配布してもらっています。

通信には、サロンの活動内容を掲載し地域の方へ参加を呼びかけています。

◇宮成サロンの効果◇

いきいきサロン活動が、地域のネットワークづくりの一躍を担っています。

- ・介護予防
- ・引きこもり予防
- ・見守り見守られ
- ・安否確認
- ・認知症予防
- ・情報交換
- ・空き家の有効活用

「社協会員の募集」と「会費」のご協力のお願い

社協会員会費は地域福祉推進の基盤となります。

美馬市社会福祉協議会の運営は、市民の皆さまからの社協会員会費をはじめ、美馬市や徳島県社会福祉協議会からの補助金や委託金、寄付金等でまかなわれております。

“住民主体”の地域福祉活動の実施のため、会員制度をとっています。今後、さらに充実した事業をすすめていくためにも、ご理解ご協力をお願いいたします。

◇会員の区分 普通会員(会費一口500円) 特別会費(会費一口1,000円)

全世帯のみなさまに加入をお願いしています。

特に社協の福祉事業推進にご賛同いただける方は、特別会員として、ご協力をお願いします。

◇会員会費募集推進期間 10月1日(火)～12月20日(金)

会員会費の募集は、年間を通して行っています。

※自治会一括納入の自治会も会員把握のために、会員名簿の提出をよろしくお願いいたします。

善意銀行からのお知らせ

善意銀行では、市民のみなさまからのご寄付(金銭や物品等)をお寄せいただいています。
令和5年度は、次の善意が寄せられました。

一般寄付金8件 1,740,000 円、香典返し寄附金2件 120,000 円
物品預託74件 888,610 円相当
ご協力ありがとうございました。

お寄せいただいた善意は、地域福祉の増進に資することを目的に、住宅火災等の見舞金、地域福祉活動事業、緊急用食料品等給付事業、認知症高齢者等 GPS 事業等に使われています。

認知症高齢者等GPS機器導入費用助成事業

徘徊高齢者等の事故を未然に防ぐとともに、徘徊高齢者等を介護する家族等が安心して生活できる環境を整備することを目的とした事業を行っています。

- 助成申請できる方 美馬市内に在住する徘徊高齢者等を在宅で介護されている方
- 助成対象経費 本会が指定する機器を利用する際の初期導入費用
※通信料や月額利用料等については、利用者負担となります。
- 助成金額 19,000円を上限(助成は1回のみ)
- 申請に必要なもの ①美馬市社会福祉協議会認知症高齢者等GPS機器導入助成金申請書
②印鑑



食料品及び日用品提供へのご協力



○食料品及び日用品提供にご協力をお願いします。

生活に困窮されている方への支援にあたり、個人または団体や企業から食料品及び日用品の提供・寄付を募集しています。ご寄付いただいた物品は預託登録を行い、相談を通じて経済的な問題等で生活に困っている方への支援に活用させていただきます。

※提供・寄付物品につきましては、賞味期限内のもの・未開封品のものに限らせていただきます。

<問い合わせ先>総務課 ☎0883-53-7432

第四六号 発行日/令和六年九月
電話(0883)537432 FAX(0883)531847
発行/社会福祉法人美馬市社会福祉協議会
〒779-1361 徳島県美馬市脇町大字脇町二二六五番地一
e-mail mimashi@tokushima-shakyo.jp